

2014年外来入院患者統計（2014年1月～12月）

外 来

月	初 診					再 診					合 計				
	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター
1月	37	26	82	237	16	987	796	1,020	4,022	960	1,024	822	1,102	4,259	976
2月	42	25	68	246	15	1,022	692	1,014	4,035	862	1,064	717	1,082	4,281	877
3月	47	33	76	260	25	1,016	787	1,141	4,414	984	1,063	820	1,217	4,674	1,009
4月	62	28	94	290	25	1,066	780	1,013	4,307	883	1,128	808	1,107	4,597	908
5月	43	35	80	236	15	1,018	776	1,155	4,217	924	1,061	811	1,235	4,453	939
6月	54	26	80	262	20	1,093	822	1,020	4,658	924	1,147	848	1,100	4,920	944
7月	51	30	104	266	26	1,058	856	1,161	4,443	959	1,109	886	1,265	4,709	985
8月	47	25	101	250	27	1,058	794	1,111	4,120	925	1,105	819	1,212	4,370	952
9月	74	27	80	242	21	1,072	896	1,129	4,510	1,202	1,146	923	1,209	4,752	1,223
10月	57	26	97	288	21	1,163	923	1,239	4,542	978	1,220	949	1,336	4,830	999
11月	45	31	108	269	15	973	662	1,140	4,235	865	1,018	693	1,248	4,504	880
12月	51	32	798	261	16	1,057	831	1,106	4,502	908	1,108	863	1,904	4,763	924
計	610	344	1,768	3,107	242	12,583	9,615	13,249	52,005	11,374	13,193	9,959	15,017	55,112	11,616

入 院

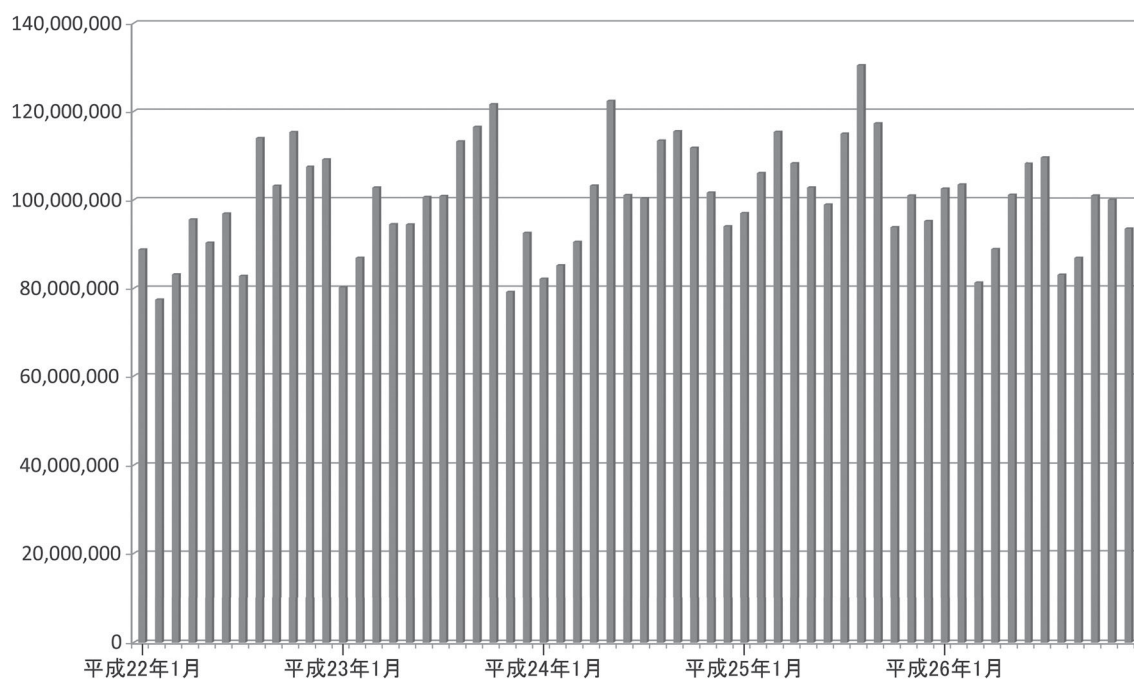
月	新 入 院					退 院					延 入 院 数				
	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター
1月	86	47	31	224	28	74	40	24	185	22	1,167	506	266	2,712	237
2月	66	43	35	212	28	63	45	36	214	29	1,112	544	377	2,617	419
3月	74	50	39	226	25	87	51	41	235	31	1,026	578	360	3,074	453
4月	67	48	33	219	23	68	52	34	239	19	905	692	319	2,870	343
5月	82	42	27	207	20	73	51	25	212	23	1,131	623	318	2,539	413
6月	80	44	36	231	32	71	39	37	219	30	1,376	562	394	2,688	467
7月	77	61	30	239	26	87	60	32	232	23	1,249	694	255	2,675	401
8月	70	49	42	241	33	75	53	42	244	35	1,067	671	324	3,098	448
9月	90	54	40	220	27	78	60	36	223	27	1,137	610	324	2,965	448
10月	87	54	30	243	24	87	45	35	232	23	1,213	624	315	2,950	420
11月	75	51	36	207	21	85	59	33	223	27	1,180	750	386	2,933	409
12月	67	40	31	222	30	82	47	37	258	29	1,196	673	424	2,883	437
計	921	583	410	2,691	317	930	602	412	2,716	318	13,759	7,527	4,062	34,004	4,895

※ 数値は速報値です。

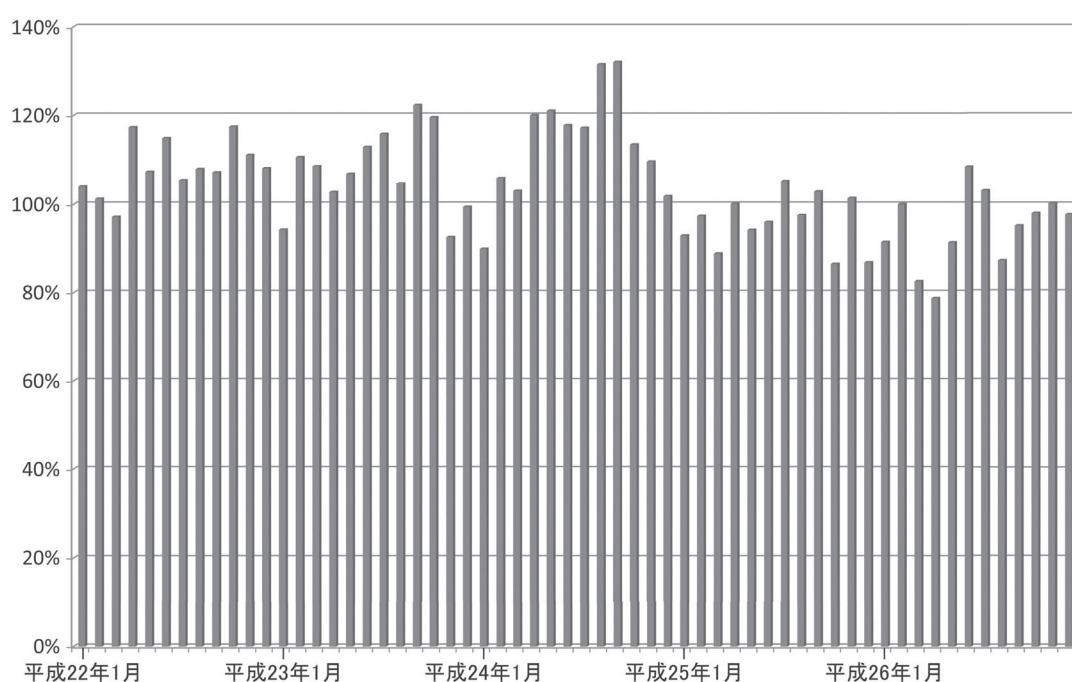
※ 延入院数は24時現在の在院患者数ではありません。退院患者も含まれています。

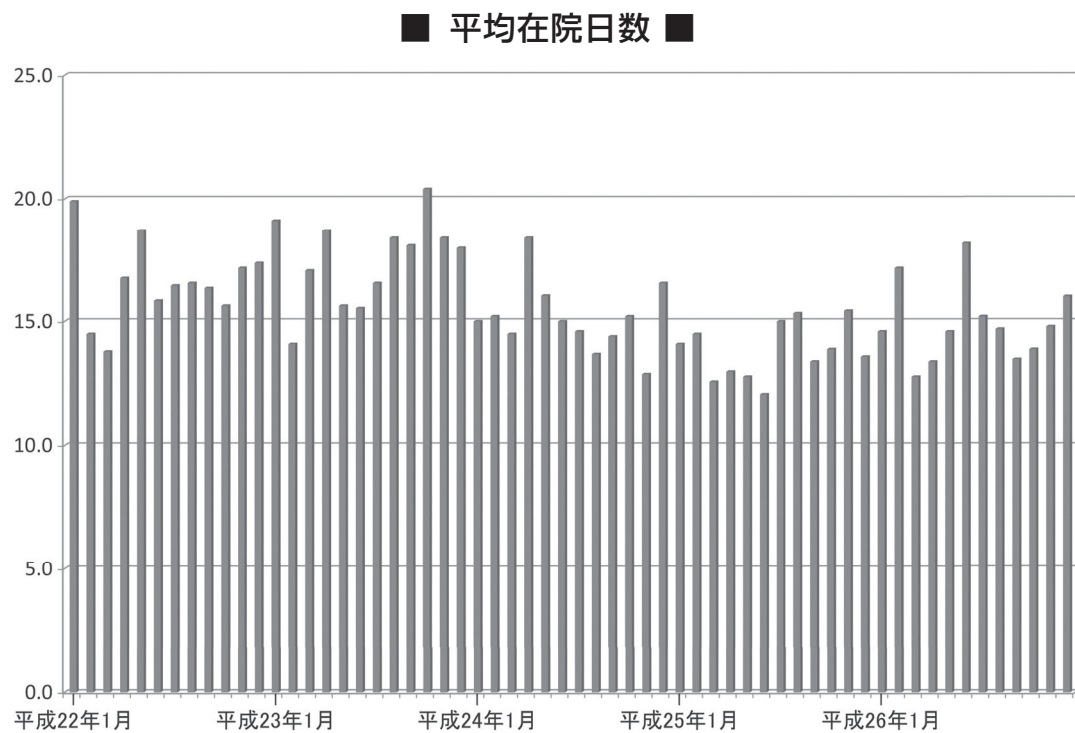
消化器・肝移植外科の最近5年間の診療指数の推移

■ 稼働額（室料除く） ■



■ 病床利用率 ■





外 来 日 程 表

(平成27年1月1日現在)

横浜市立大学附属病院

		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
消化器・肝移植外科	初診担当医	遠藤 格 菅江 貞亨 田中 優作		遠藤 格 三宅謙太郎		遠藤 格 有坂 早香 島 秀栄
	再診担当医	関澤健太郎	佐藤 渉(1.3.5週) 三宅謙太郎(2.4週)	佐藤 渉	諏訪 雄亮	大山 倫男
	専門外来 担 当 医	肝・胆・膵 遠藤 格 武田 和永 松山 隆生 森 隆太郎 澤田 雄 肝胆膵化療 大田 洋平 胃 秋山 浩利 小坂 隆司 大 腸 石部 敦士		肝・胆・膵 遠藤 格 武田 和永 松山 隆生 森 隆太郎 熊本 宜文 大田 洋平 肝胆膵化療 本間 祐樹		肝・胆・膵 武田 和永 熊本 宜文 本間 祐樹 浅野 史雄 胃化療 秋山 浩利 小坂 隆司 大 腸 石部 敦士 樺山 将士
臨床腫瘍科・乳腺外科	初診担当医	市川 靖史	小林 規俊	市川 靖史	後藤 歩	
	再診担当医	市川 靖史	徳久 元彦	市川 靖史 後藤 歩	後藤 歩 市川 靖史	市川 靖史 小林 規俊
	専門外来 担 当 医	外来化学療法室 貴島 深雪 大腸化療 市川 靖史 徳久 元彦 乳 腺 菅江 貞亨 有坂 早香 島 秀栄	化学療法外来 後藤 歩 小林 規俊 徳久 元彦	化学療法外来 市川 靖史 小林 規俊	外来化学療法室 市川 靖史 後藤 歩 徳久 元彦 化学療法外来 小林 規俊	乳腺化療 菅江 貞亨 島 秀栄 化学療法外来 後藤 歩

横浜市立大学附属市民総合医療センター

		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
			乳腺外来 成井 一隆 山田 顕光 足立 祥子		甲状腺外来 益戸 功彦 増田 晴彦	乳腺外来 成井 一隆 山田 顕光 足立 祥子
乳腺甲状腺外科	初診担当医					
	再来担当医					
(IBD)センター 炎症性腸疾患	初診担当医		木村 英明			木村 英明
	再来担当医		木村 英明 後藤 晃紀			木村 英明 後藤 晃紀
消化器病センター	初診担当医	大田 貢由	國崎 主税	大田 貢由 円谷 彰 木村 準	高川 亮 林 勉	南 裕太
		下部消化管 (大腸・直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 鈴木 喜裕 諏訪 宏和 井上 広央	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 円谷 彰 牧野 洋知 木村 準 林 勉 前澤 幸男	下部消化管 (大腸・直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 鈴木 喜裕 諏訪 宏和 井上 広央	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 高川 亮 林 勉 肝・胆・膵 南 裕太	肝・胆・膵 南 裕太
	午前 専門外来 担当医					
	午後 専門外来 担当医	下部消化管 (大腸・直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 鈴木 喜裕 諏訪 宏和 井上 広央	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 円谷 彰 牧野 洋知 木村 準 高川 亮 林 勉	下部消化管 (大腸・直腸・大腸化学療法) 鈴木 喜裕	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 木村 準 高川 亮 肝・胆・膵 南 裕太	ヘルニア 井上 広央 肝・胆・膵 南 裕太
	緊急対応	前澤 幸男	井上 広英	井上 広英	前澤 幸男	前澤 幸男

2014年各施設入院手術統計

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院がまぐら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
頸部																							
甲状腺癌	亜全摘術					5						1	47									15	
	全摘術				1							1	25										
	その他				3							2	5		1								
甲状腺腫	亜全摘術											1	26									49	
	葉切除術											2	10		1				1				
	その他											1										5	
正中頸嚢胞	切除術																						
耳下腺腫瘍																							
その他				2	6	2				4	9	8											6
乳腺																							
乳癌	拡大乳房切断術（＋形成）																						
	定型的乳切術（＋形成）										27	1											
	非定型的乳切術（＋形成）	36	125	10	12	44	18	10	4	92	55	90	13		2		25			98		12	
	部分切除術（乳房温存）	27	85	11	5	56	27	4	15	117	34	95	55		11		21			90		3	
	その他		4		1	9				25	7	1	1		23					29		2	
乳癌局所再発	切除術（＋形成）	2	1	1		4	1			5	1	1	1										
	その他									1	1												
良性腫瘍	単純乳切除術						1			1	1		2						1				
	腫瘍摘出術	4	7		4	11	11		8	12	4	24					10	1				6	
	その他									15													
その他		6				1				38													
胸部																							
原発性肺癌	肺切除術																						
	肺葉切除術																						
	部分切除術（胸腔鏡）														4							11	
	その他																						
転移性肺癌	肺葉切除術																						
	部分切除術（胸腔鏡）																					6	
	その他																						
その他の肺腫瘍																							
縦隔腫瘍	胸腺摘出術																						
	その他																						
膿胸	ドレナージ術						1										1					3	
気胸	ブラ縫縮切除術																						
	ブラ縫縮切除術（胸腔鏡）																					22	
その他	（肋骨腫瘍切除）												4										
食道																							
食道癌	食道拔去術																						
	3領域郭清		2	3			3					1					12						
	2領域郭清	6	16	2	2	5	4				5	2	2		2		4					1	
	頸部食道＋喉頭全摘																						
	その他		8									2											
良性腫瘍	切除術		3				1																
食道静脈瘤	離断術															1							
	術中硬化療法																						
その他	空腸瘻造設	2				1																	
	噴門形成術								1														

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院がまぐら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
胃十二指腸																							
胃癌	腹腔鏡(補助)下噴門側胃切除術	1	2	1		2	5					2											
	幽門側切除	11	15	3	18	39	35	5	8		27	13	18	3	9	6	37	4				8	
	腹腔鏡(補助)下幽門側胃切除術	14	39	12	9	7	1				29	9	17	5	2	1	54	4				6	
	幽門保存胃切除術		1			4	1				1				1								
	腹腔鏡(補助)下幽門保存胃切除術					1																	
	胃全摘術	9	18	2	19	25	16	5	11		27	14	13	3	6	5	22	2				11	
	腹腔鏡(補助)下胃全摘術	1	25	2		1					4	7	1				5						
	d			1																			
	LUAE																						
	PD		1												1								
	胃空腸吻合術		2			1	1		2		5	2			3	2	6		1				
	腸瘻造設術	1		1		1					1					1						1	
	部分切除術			2		1					1								1			1	
	その他(試験開腹術含む)	10	35	5	2	1		1	2		2	9	13		1	1	1	4				5	
残胃癌	残胃全摘術	2	2	1	1	1	5	1			3	2	2			3							
	残胃空腸吻合術																						
	腸瘻造設術																						
	その他				1																	1	
胃粘膜下腫瘍	部分切除術	1	1		1		1					3	2		1		4						
	腹腔鏡(補助)下部分切除術		7	1	2	2					4		4			1	7						
	幽門側切除術		1									1			1								
	胃全摘術										1												
	その他																					3	
胃悪性リンパ腫	幽門側切除					1																	
	胃全摘術																						
	その他																						
胃潰瘍	胃全摘術						1								1								
	広範囲胃切除術										1												
	迷走神経切離術																						
	胃部分切除術																						
	その他		1		1	2		2	2		2	5	5		3	1	3						
肥厚性幽門狭窄 十二指腸癌	筋層切開																						
	PD						3						1		1		3						
	胃空腸吻合術																					1	
	部分切除術	2	3		1	1																	
	その他																						
十二指腸潰瘍	広範囲胃切除術																						
	迷走神経切離術				1																		
	単純閉鎖術										6				1								
	単純閉鎖術+大網被覆術		1	2	3	1		4	6		1	3			3		7					2	
	大網被覆術(腹腔鏡)			1																		1	
	その他											2	1			1	1						
十二指腸 GIST	部分切除術																						
その他					4	3	1	1			4		5		2		5		14				
大腸																							
結腸癌	腸切除術	3	10	16	22	44	10	20	44		72	21	45	8	27	18	50	1	1			29	
	腹腔鏡下切除術	21	117	24	31	63	78	7	9		92	79	101		10	6	88	5				27	
	非切除人工肛門	4	11		1	2	1	4	1		25	3	1		5		7		1			8	
	その他	1	1	1	1		1	1	1			4			2		2	1				7	

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院がまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
直腸癌	前方切除	2	1	10	4	13	1	5	21		58	2	56	3	13	10	7	1					13
	ISR			5																		6	
	腹会陰式切除術		6	5		5	1	3	3			1		1	3	3							
	腹仙腹式切除術		2				1				1		10			2							
	仙骨腹式切除術		0				0																
	骨盤内臓全摘術	1	2	2									2										
	腹腔鏡下切除術	22	68	30	17	34	27	4	2			18			1	3	46	2					9
	非切除人工肛門	6	12	3	4	3		4	2		14	5	1	1			4						8
	その他 (Hartmann を含む)	1	3	4	3	8		1			2	6	7		4	1	3	2					2
肛門癌	直腸切除術	2	2	1				1								1							
	局所切除術		3	1																		2	
	非切除人工肛門																						
	その他			1		1																	
再発結腸癌	腸切除術					3			1		1					1							
	非切除人工肛門								1		2												
	その他			1	1	2	1				3				2			1					
再発直腸癌	直腸切除術					1						1											
	骨盤内臓全摘術																						
	局所切除術											1											
	単径リンパ節郭清術		1									1											
	非切除人工肛門	1			1																		
	その他		1	2		2					3												
結腸ポリープ	腸切除術 (腹腔鏡を含む)					1	2				1		1				4						
	腸切開ポリープ切除術																						
	その他																						
直腸ポリープ	腸切除術																						
	腸切開ポリープ切除術																						
	経肛門的切除術										1			1		2	4		1		24	15	
	その他																						
肛門ポリープ	切除術			2		2			1		1					1	3	1			142	6	
大腸憩室炎	切除術			3	1	6	9		3		5	5	2	1	2	1	1					3	
	ドレナージ術					2							1			1	1						
	その他										2		1										
大腸カルチノイド	切除術		1	1							1	1			1								
大腸悪性リンパ腫	切除術			1		3	1				1	1					2						
人工肛門状態	閉鎖術	13	59	19	6	44	12	1	4		48	15	20	1	8	7	25					11	
	人工肛門造設術			12																			
潰瘍性大腸炎	大腸全摘術		13			10																3	
	大腸全摘術		14			50																	
	残存直腸切除術		13			13																	
	空腸部分切除術																						
	その他		2			6																2	
Crohn 病	小腸部分切除		19			42																1	
	結腸切除術		6			71																2	
	その他 (Seton)		5			27															31	1	
腸結核			1																				
Meckel 憩室	切除術						1					1											
小腸腫瘍	切除術				1				1		6	4			1		1					1	
	その他																					1	
その他		8	5	3	14	4		4	2		48	15	60		7		19						6

		横滨市立大学附属病院	横滨市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横滨市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横滨市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜救済会病院	N.T.T.東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院がまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
肛門																							
痔核	結紮切除術			3	2	3		8	6		6	8		2	1	10	81	1			2515	186	
	PPH 法			2																			
痔瘻	根治術		1	4	3	27		3	5		3	3			2	2	45				989	154	
肛門周囲膿瘍	切開排膿術	2				2			3		2			1	6		2	3			578	19	2
裂腔				1													3				410	47	
直腸脱	Gant-三輪法など				1			1			3	3			1	2	6				63	20	
肛門狭窄				1		4											9				428	19	
その他				1	2	1		1	1		4			2	1		1	1			1066	3	
消化管その他																							
急性虫垂炎（幼児）	虫垂切除術			20	20	13	15	5			3	8											
急性虫垂炎（成人）	虫垂切除術	8	12	3	64	94	49	16	34		68	53	88	14	41	3	51	12				56	
腸閉塞	癒着剥離術	4	1	11	8	19	14	7	2		21	20	10	2	1	2	9	2	1			16	
	腸切除術	3	5	2	7	9	5	6	11		7	8	37	4	2		15					3	
	吻合術			1									4		1	2	3					1	
	その他（人工肛門造設）				1		1					6	3			1		1				3	
腸重積	整復術																						
	腸切除術		1		1								1										
縫合不全	腸切除術	2		1				1															
	ドレナージ術		1	2								1	5										
	人工肛門造設術		1	2	1	2	3	1	3		1	8					3					1	
穿孔性腹膜炎	人工肛門造設術	2	2		2		13	6	4		7	9	2	1	1		1						
	ドレナージ	2	1	2	1	32		3			8	3	29	1	1	1	2					13	
残胃穿孔	ドレナージ																						
腸間膜腫瘍（腸切）		1																					
その他		3	7		7		10	1			14	5			1								
肝胆道																							
原発性肝癌（HCC）	肝切除術	27	17	4	12	12	4				17	5	5		6	2	5	1					
	肝動注																						
	その他											1					1						
原発性肝癌（CCC）	肝切除術	5	1	1	4	1	2								1	1	1						
	肝動注																						
	その他																						
転移性肝癌	肝切除術	28	13	26	10	14	7	4	2		17	20	6		4	6	21					4	
	肝動注			3																			
	その他																						
胆嚢癌	胆嚢摘出術			1			3				1	1										2	
	胆嚢床切除	1	3		1	1	3				2	2				1	5						
	S4下5切除	1		1			1									1							
	拡大肝切除術			1									3										
	肝切除+PD			2																			
	その他	4				1									1								
胆管癌	PPPD（+肝切除）					1																	
	PD（+肝切除）	9	4	2	2	3	4		3		3	4	2		1	2	2					2	
	総胆管空腸吻合術																						
	その他	8																					
乳頭部癌	PPPD																						
	PD	3	1	1	1		2				3	2	1		4		1						
	胃空腸吻合術																						
	その他（試験開腹）						1						1										

		横濱市立大学附属病院	横濱市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横濱市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横濱市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜救済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
肝門部胆管癌	肝切除術	8				2	2																
	拡大肝門部胆管切除+PD	7														1							
	胆管切除				1											1							
肝血管腫	肝切除術			1			3			1								2					
肝嚢胞	肝切除術				1							1				1							
	開窓術		2		2		2	1								3							
肝膿瘍	ドレナージ術																						
	開窓術																						
肝内結石	肝切除術	2	1			1						1				1							
	その他						1																
胆嚢結石	開腹胆嚢摘出術		5	1	40	19	19	8	22		26	21	11		14	6	23					8	
	腹腔鏡下胆摘術		33	33	70	69	79	19	24		157	78	115	21	26	30	106	18				51	
総胆管結石	胆総胆管切開術 (T)				5												1		1				
	胆総胆管切開術 (R or C)			3	4	2					2	1		1	2	2							
	胆摘経胆嚢管の切石					2																3	
	その他				1							1										2	
胆嚢ポリープ	開腹胆嚢摘出術	4				8																	
	腹腔鏡下胆摘術	1	3	2	6	20	1	1	2		7	3	2		1	2		1					
	その他				4																		
総胆管嚢腫	嚢腫切除胆道再建						1																
膵胆管合流異常	胆嚢摘出術	1																					
	その他	1																					
生体肝移植		3																					
その他 (良性乳頭部胆摘総胆管切開術 (R))		4			3							4											
膵臓・脾臓																							
膵癌 (IPMN,MCNを含む)	PD	19	6	3	12	4	6		4		2	6	1		3	2	16						
	PPPD					12																	
	TP	3				1																	
	膵体尾部切除	24	4		3	8	3		2		3	5	3		1		7					1	
	部分切除	2	2																				
	試験開腹・生検	3	1		2		2				1												
	消化管バイパス手術		1	1				1	1		1											1	
膵嚢胞	切除術				2						1												
慢性膵炎	PD														1	1							
	PPPD																						
	その他	5					1					3			1								
ITP	脾臓摘出術 (開腹)																1						
	脾臓摘出術 (腹腔鏡)		3		1	2											1						
その他					3	1		1			3		1			5							
ヘルニア																							
腹壁癒痕ヘルニア	根治術		3	4	7	1	2	5			18	14	10	5	4	5	20	1				3	
臍ヘルニア	根治術			2	1	2	1		6		5	4	3	1		2	3						
単径ヘルニア (幼児)	根治術				5			6			7	5	2										
単径ヘルニア (成人)	根治術 (従来法)					1					8	2	2									8	
	根治術 (腹腔鏡)			8							41	10	38	152		2						84	
	メッシュプラグ		1	37	93		117	19	75		80	29		4	76	2		8	6			11	
	PHS							1				14	91		13								
	その他		2			129		57			75	45		8	1	120	185	30				2	
大腿ヘルニア	根治術			4		3	1	1	3		10	3	5		3	3	6					2	
閉鎖孔ヘルニア	根治術			3		2	2	3			3				1							2	
その他				1			1				1	1	2									4	

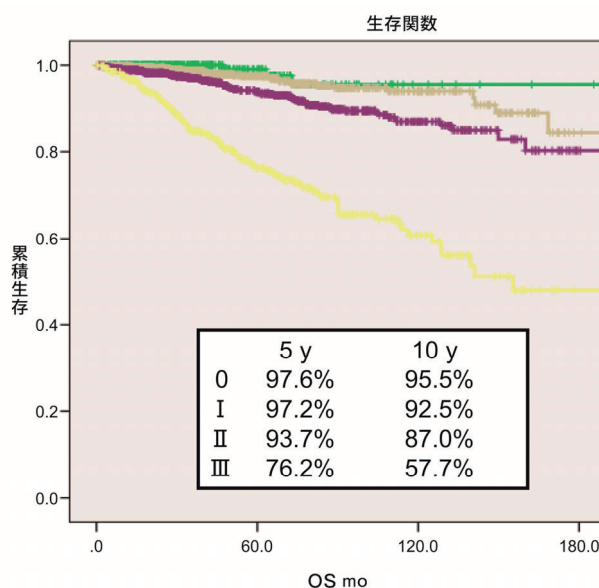
		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	帝京大学ちば医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院がまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院
血管																							
下肢静脈瘤	stripping													2	31				1				2
動脈血栓症	血栓摘出術														4								
腸間膜動脈血栓症	腸切除術			1	3			1			1												
門脈塞栓術		22		7	1											1							
肝動注カテーテル抜去		1																					
その他					2						115		1	14	20				1				6
術後出血	開腹止血		1		1	3			1		1		1										
	開胸止血																						
後腹膜・腎																							
後腹膜腫瘍	腫瘍切除		2		3	1	1		1			4	2				3						
その他											3			4			2					1	
体表					17		2	5	34		17	48			7		107	17				4	6
その他				37	36		15	1		40		35		6								49	

乳 癌

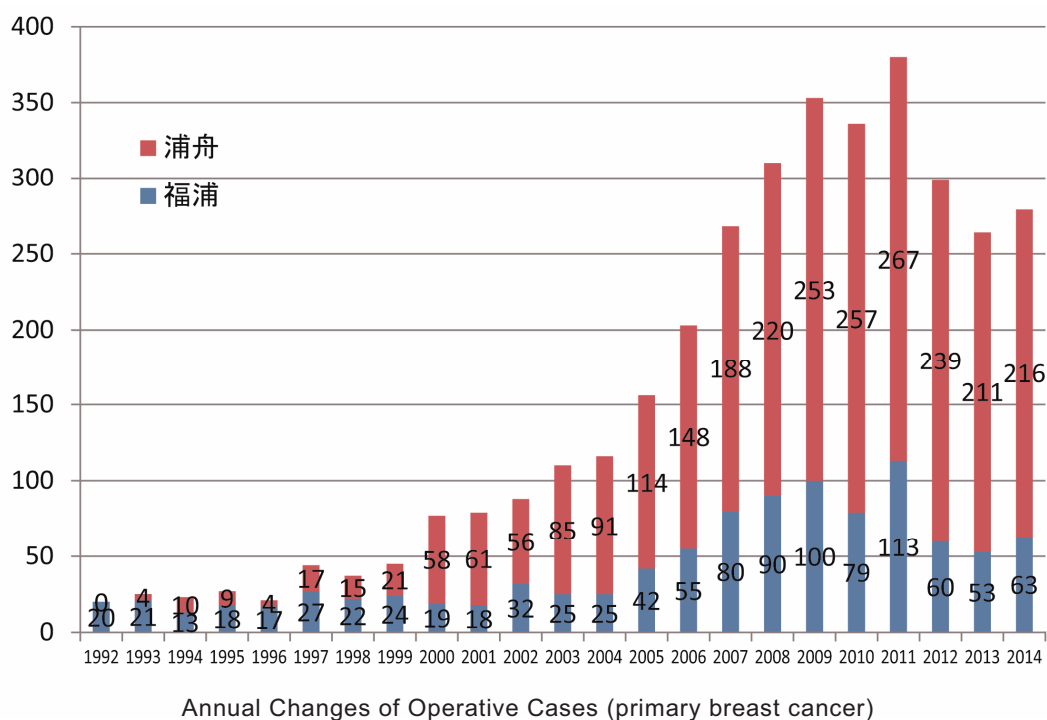
菅 江 貞 亨

1992年から2014年までの横浜市立大学付属病院および市民総合医療センターで手術を行った3555例について解析を行った。両施設合わせた病期別解析では、5年生存率が0期；97.6% I期；97.2% II期；93.7% III期；76.2% IV期；29.1%であり、10年生存率は0期；95.5% I期；92.5% II期；87.0% III期；57.7% IV期；7.0%であった。2014年手術件数は279件（附属病院63件、市大センター病院216件）であった。2007年以降は毎年250件以上の手術をさせていただける環境となっており、今後もこの状態を継続できるように努力を続けていきたい。

また、CSPOR、SNNS研究会などの全国的な臨床試験のほかに、YCOGやKBOGなど地域の臨床試験にも積極的に参加し続けている。今年度も関連各施設とも連携しながら臨床試験にも取り組んでいきたい。



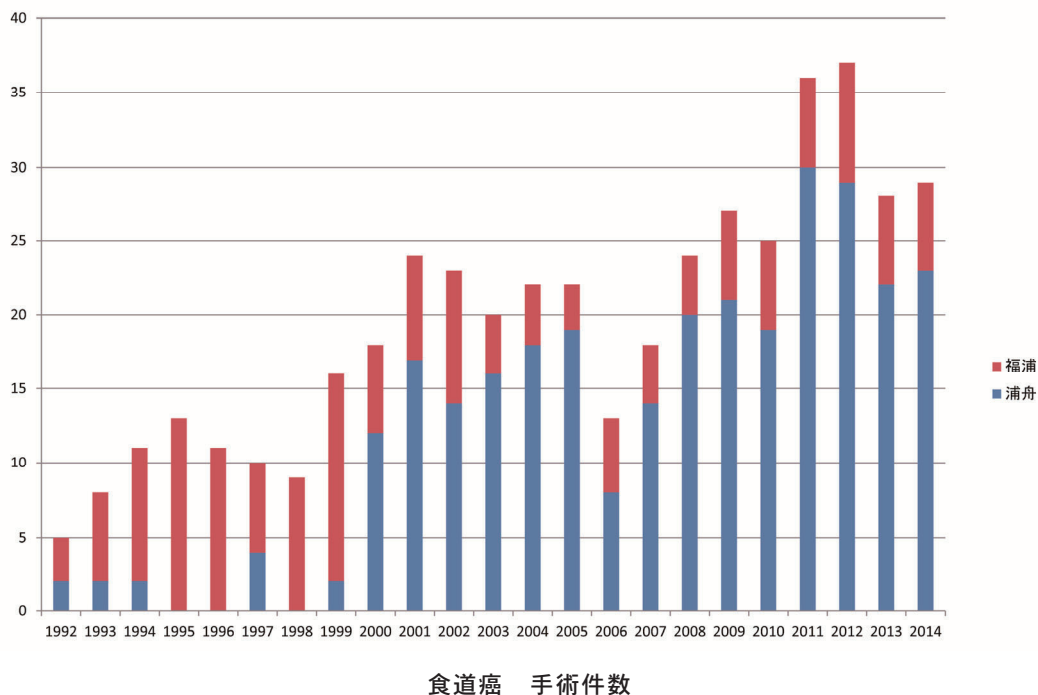
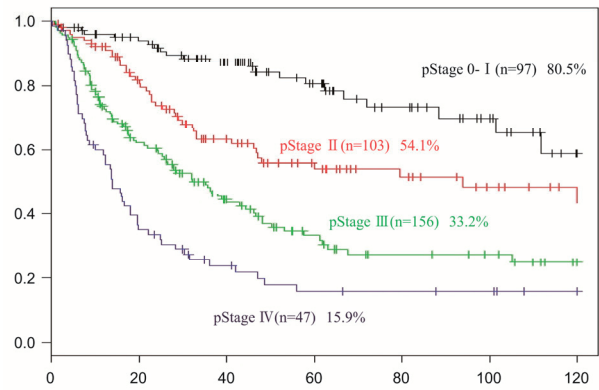
Overall Survival (Stage)



食道癌

小坂 隆 司

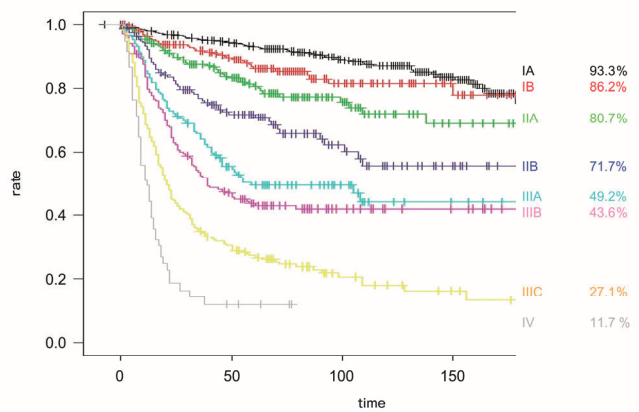
2014年の切除症例は29例（福浦6例、浦舟23例）であり、1992年より合計449例となった。全切除症例の5年生存率は46.2%であった。Stage別の5年生存率は0-I=80.5%、II=54.1%、III=33.2%、IV=15.9%であった。またリンパ節転移個数別の5年生存率は0=69.4%、1-3個=38.4%、4-6個=16.5%、7個以上=23.5%であった。stageII,III進行食道癌に対しては標準治療である術前化学療法（NAC：FP）を施行しておりNAC後の切除例は31例となっている。今後も症例を集積したいと考えている。



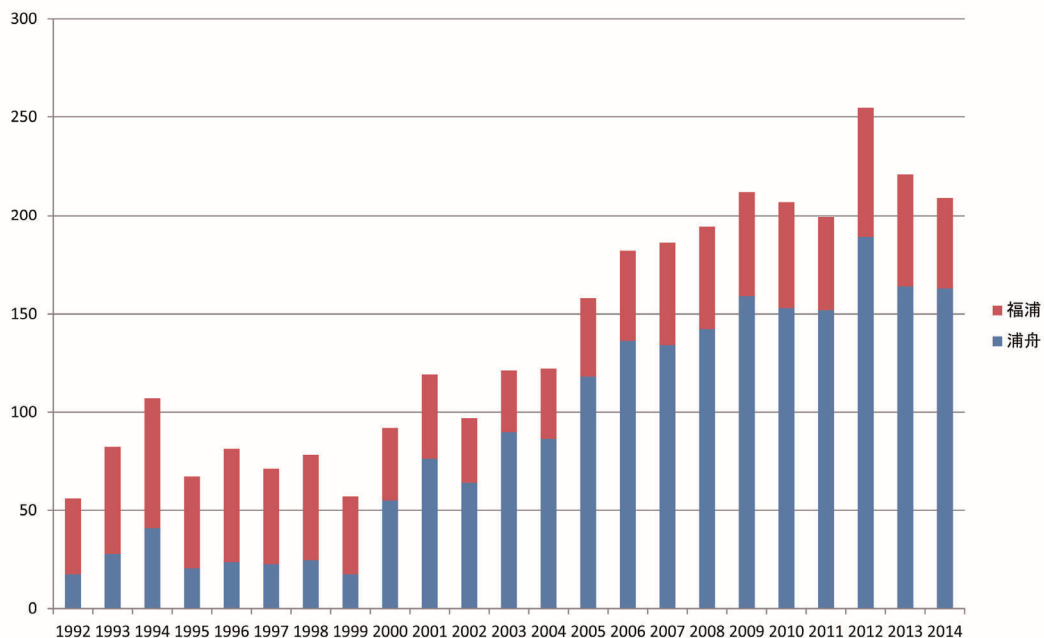
胃 癌

小 坂 隆 司

2014年の切除症例は162例（福浦40例、浦舟122例）で1992年より3149例となった。全切除症例の5年生存率は70.7%であった。Stage別の5年生存率は、IA=93.3%、IB=86.2%、IIA=80.7%、IIB=71.7%、IIIA=49.2%、IIIB=43.6%、IIIC=27.1%、IV=11.7%で全国集計と比較して遜色ない成績であった。腹腔鏡手術の適応をT3(SS)、N1まで拡大しており、55.1%が腹腔鏡手術となっている。また、センター病院を中心に早期癌に対しては2portsでのReduced ports gastrectomyも行われている。bulky N2症例、No.16陽性症例、stageIII症例に対しDCS（TS-1+DOC+CDDP）を術前化学療法として施行している。今後も腹腔鏡手術・術前化学療法を中心の症例を蓄積していきたい。



胃癌 stage別生存曲線



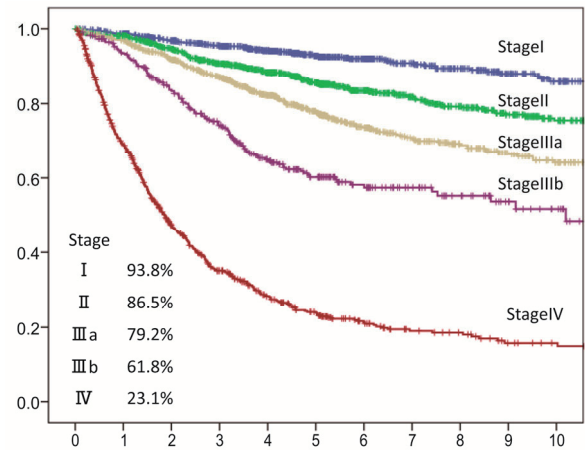
胃癌症例の年次推移（切除例）

1992-2014 計3149例

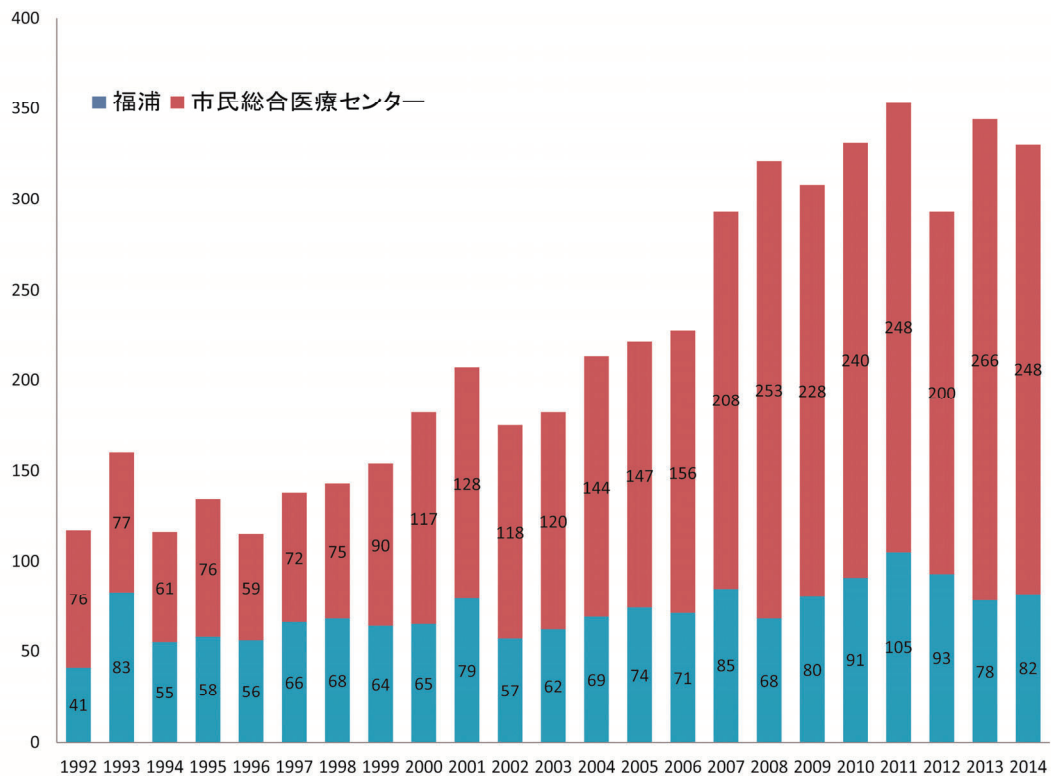
大腸癌

石部 敦 士

平成26年度の手術件数は福浦82件、消化器病センター248件で合計330例でした。Stage別の5年生存率はI期：93.8%、II期：86.5%、IIIa期：79.2%、IV期：23.1%でした。腹腔鏡下手術の割合は年々増加し、今年度は約90%が腹腔鏡下手術となっています。単孔式腹腔鏡下手術や腹腔鏡下側方郭清などの新しい手技も軌道にのり、学会等でも発表を重ねています。臨床研究においては、JCOG、大腸癌研究会などの全国的な臨床試験とともに、YCOGにおいても多くの臨床研究が進行中です。手術の低侵襲化、周術期成績の向上と集学的治療など日本をリードするevidenceを確立できるよう日々精進しております。



大腸癌 stage別生存曲線



大腸癌症例の年次推移

炎症性腸疾患

木村 英明

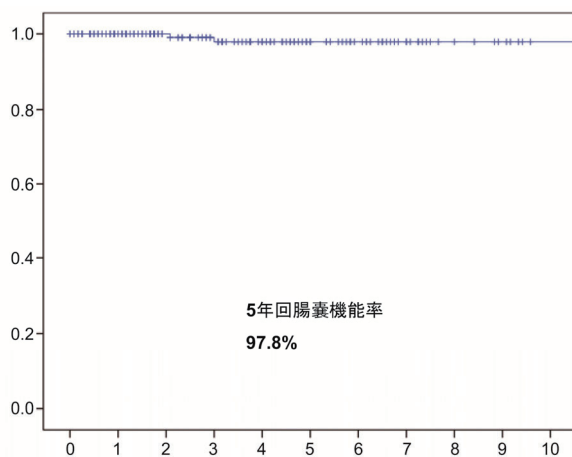
2014年のセンター病院炎症性腸疾患（IBD）センターの総手術件数は84件でした（潰瘍性大腸炎初回手術27例、2期目再建手術13例、Crohn病32例、その他腸管Behcet病、単純性潰瘍、腸管子宮内膜症など）。

2000年からの潰瘍性大腸炎の累積手術例は350例、当科初回手術例は337例で、手術適応は難治212例（63%）、重症106例（31%）、癌、dysplasia19例（6%）、1期的手術は197例（58%）、腹腔鏡補助下手術（HALS）は75例（22%）、緊急手術は94例（28%）でした。術後排便機能は経時的に回復し、術後1年における一日排便回数は 7.7 ± 3.0 、漏便（soiling）は14%で、回腸囊使用例の回腸囊機能率は5年で

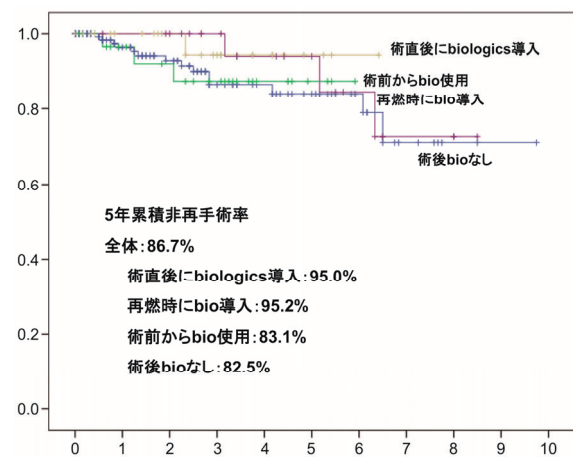
97.8%でした。

2000年からのCrohn病の累積手術件数は609件で、腸管病変に対する手術は532例、標準術式は小範囲切除、狭窄形成術で、97例（18%）を腹腔鏡補助下手術でおこないました。肛門病変に対する手術は123例で、標準術式はseton法ですが、34例（28%）は人工肛門造設を要しました。腸切除例における5年非累積再手術率は86.7%で、生物製剤新規導入例で再手術率は低下しましたが、術前から使用している例では新規導入例より再手術率が高い結果でした。

引き続き安全でQOLの高い手術をおこなっていきます。

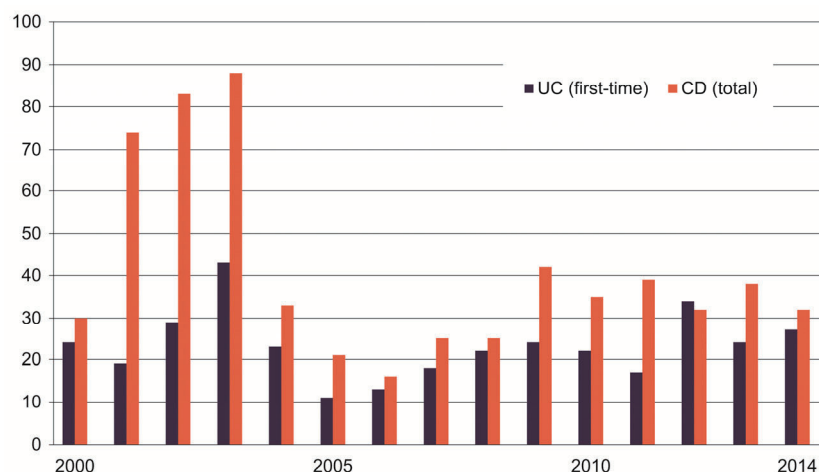


潰瘍性大腸炎術後回腸囊機能率



Crohn病 術後治療別再手術率

炎症性腸疾患（IBD）
手術件数の年次推移



原発性肝癌

武田和永、熊本宜文、澤田 雄

我国では1989年から輸血用血液のC型肝炎のスクリーニング、住民を対象とした肝炎ウイルス検査を開始し、自覚症状のないHCVキャリアの拾い上げを積極的に行ってきた。さらに、C型慢性肝炎の治療に関しては直接作用型抗ウイルス薬の登場によりウイルス排除率は上昇してきている。このため、C型肝炎持続感染に起因する肝細胞癌は全国的に減少傾向にある。当科でも、2014年度の原発性肝癌新規登録症例は47例であったが、このうちC型肝炎に起因するものは16例（34%）で減少傾向にあった。それに対して、非B非C型（NBNC）肝癌症例は24例（51%）と増加傾向にあり初めて過半数を超えた。NBNC肝癌の多くは大量飲酒や非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）由来であり、特にNASH由来の肝癌症例では、糖尿病合併率が27.3%、虚血性心疾患合併率が8.1%でウイルス性肝炎由来の肝癌症例と比較し有意に高く術前の評価や術後管理が重要となってきた。

術前肝機能評価に関しては、アジアロSPECT/MDCT融合画像による分肝機能評価を行い、術前肝不全予測に応用している。特に門脈塞栓術後は、体積変化以上に肝機能は非塞栓葉へ移行しており適応の拡大の可能性が示唆されている。

術後管理に関しては肝不全死予防のため、早期予測、早期介入を目指しており、術直後のT.Bil>1.5かつAT-III<50はISGLS定義の肝不全B,Cとなる危険群であり早期介入が必要と考えている。またERASの導入を行い、2014年度の平均術後在院日数は10.3日と短縮してきている。

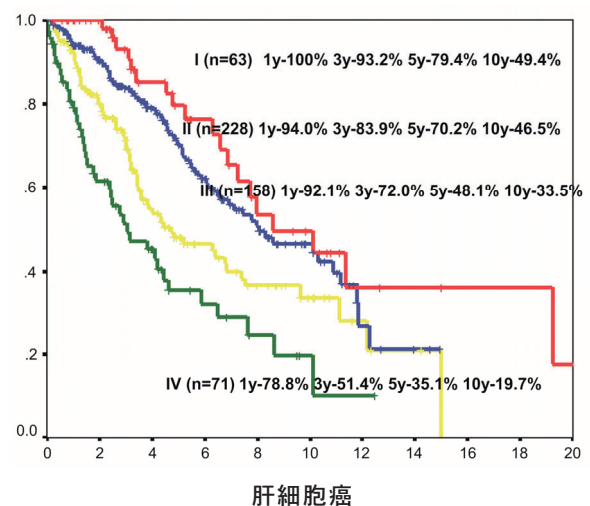
1992年から2014年までの520例の切除例のうちR2切除を除外したStage別5年10年生存率はそれぞれ、StageI：79.4%、49.4%、StageII：70.2%、46.5%、StageIII：48.1%、33.5%、StageIV：35.1%、19.7%

であった。予後規定因子は、肝内転移陽性、Liver damage BC、ICG20以上、AFP400以上、fc-inf陽性であった。

進行肝細胞癌に対する術後補助化学療法には、自費となりますが、インターフェロン併用5-FU動注化学療法、5FU+CDDP療法を行っている。

術後残肝再発症例に対する再肝切除も積極的に行っており、2012年度までの残肝再発症例210例中の45例（21.4%）が再肝切除を受け、5年10年生存率はそれぞれ、52.5%、20.4%で初回肝切除症例と比較し有意差を認めなかった。再肝切除症例の予後規定因子は、無再発期間1年未満、初回肝切除時の門脈浸潤陽性であり、この2因子が陽性の症例は再肝切除後1年以内に再再発をきたすため、手術よりTACEなどの低侵襲な治療が適正であると考えられる。

基礎研究では、動物モデルを用いた肝再生、肝不全の病態解析並びに治療を継続しており、肝不全の新たな治療を模索している。



（癌遺残、在院死、Ablation単独症例除く、N=520）

転移性肝癌

武田和永、熊本宜文、澤田 雄

当科では、大腸癌肝転移に対して、1992年より2014年末で576例に初回肝切除を実施してきました。2014年は累計41例の肝切除を施行し（図1）、非大腸癌症例を含めると、累計44例の肝切除を施行しました。大腸癌肝転移初回肝切除症例の5年生存率は50.4%でした（図2）。さらに、残肝再発症例に対しても、積極的な再肝切除療法を施行しており、91例（累計）の患者様に対し、切除を実施してきました。5年生存率は44.5%で、良好な成績を保っております。

現在の課題は、他院で、切除不可能と判断された肝転移症例に対し、化学療法・術式を組み合わせることで、切除を可能にすることと考えています。

1) 両葉多発腫瘍（4個以上） 2) 巨大腫瘍（ $\geq 8\text{cm}$ ） 3) 腫瘍脈管の浸潤している腫瘍 4) 予定残肝が小さい場合 5) 肝臓以外に転移巣が存在する場合には、切除困難例と判定されることが多いですが、当院では、このような患者様に対し、臨床腫瘍科とも密に連携し、術前化学療法を実施することで、腫瘍の縮小後に、肝切除を実施する戦略をたっています（図3）。特にCircadian chronotherapy（肝動注クロノ療法）積極的に施行しており、これまで88例に実施し、74例が切除可能となりました。

さらに、切除後の予定残肝が小さい場合には、肝臓の再生能を利用して、門脈塞栓術併用切除を含めた多段階肝切除や、3D画像を利用した血管合併切除併用肝切除を実施しています。

血管合併切除再建を伴う肝切除

転移性肝癌肝切除において、長期に化学療法を施行された症例では肝予備能が低下しています。腫瘍が主要血管に浸潤している場合、当該血管の切除を行うと大量肝切除につながり残肝容量不足に陥る危険性があるため、血行再建が必要となります。現在では術前に3D画像を作成し（図4）、術前・術中シュミレーションを行っています。

以上のような工夫をしながら、当科では、大腸癌肝転移の患者様に対し、最大限安全な手術療法を施行しており、さらに、臨床腫瘍科・大腸グループとも、連携しながら、診療をすすめております。また、大腸癌肝転移症例の他に、婦人科疾患、神経内分泌腫瘍、胃癌などからの肝転移の患者様に対しても、肝切除が有効な治療となる場合があります。このような場合には、積極的に切除療法を選択しています。

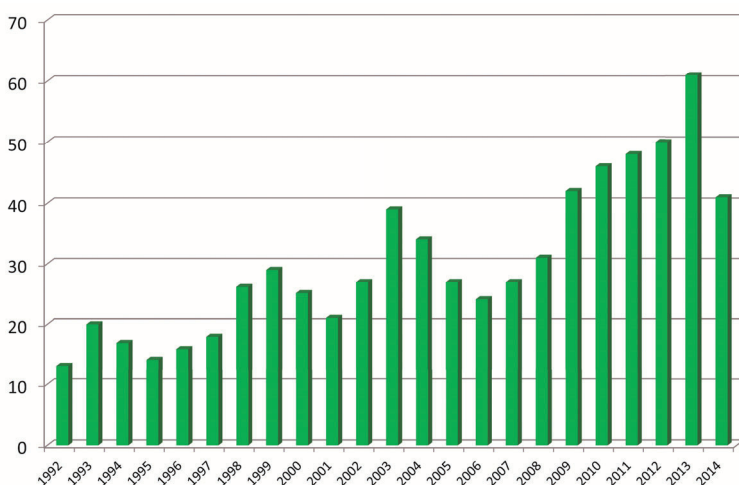


図1 転移性肝癌初回肝切除年次推移

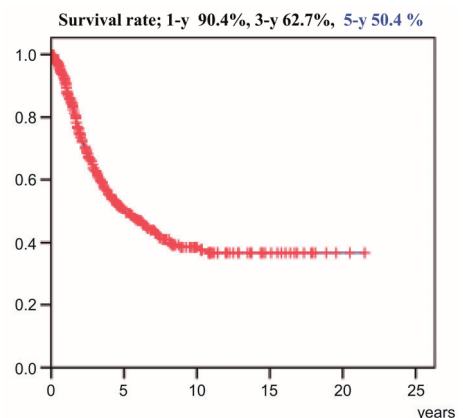


図2 初回肝切除後生存率

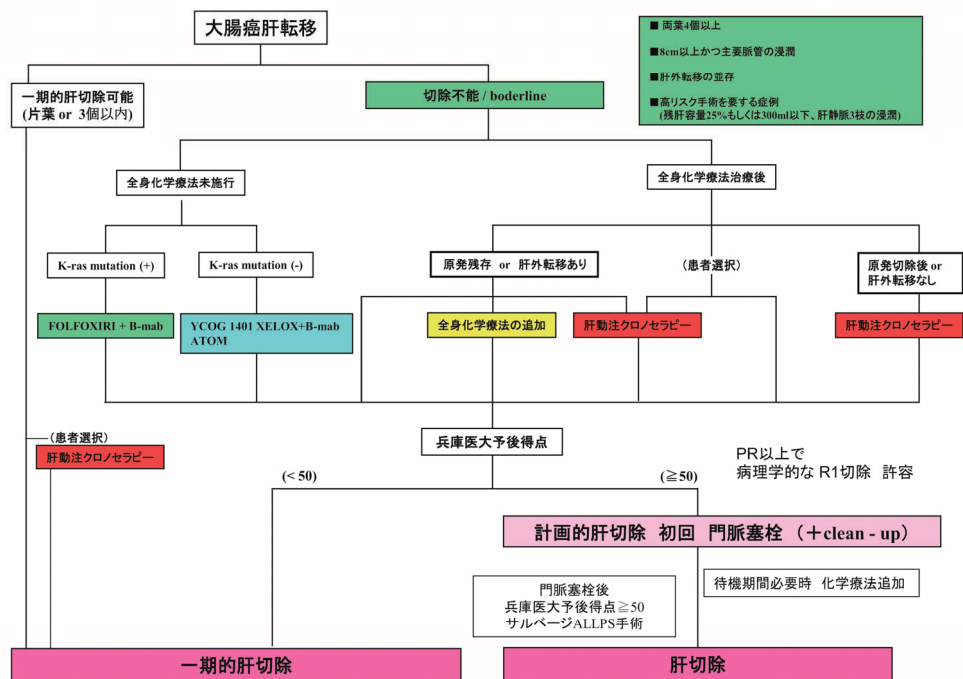


図3 当科での大腸癌肝転移治療方針

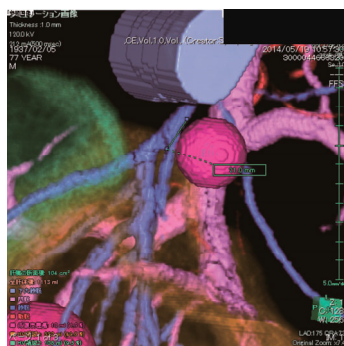


図4a 術前3D画像

化学療法施行後、肝切除の方針となった。術前診断では、Sg.8腫瘍が、右肝静脈に21mmにわたる浸潤が疑われた。しかし、全周に浸潤はしておらず、左大伏在静脈を用いてパッチ再建をする方針とした。

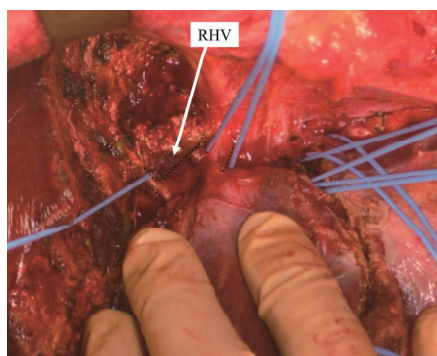


図4b 術中所見 (1)

右肝静脈に浸潤を認め、予定どおり、左大伏在静脈を採取して再建することとした。

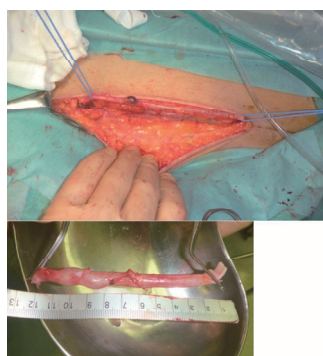


図4c 術中所見 (2)

左大伏在静脈を12cm採取した。

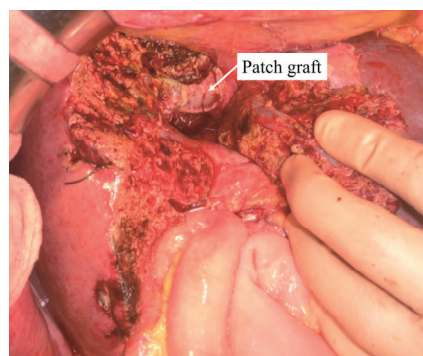


図4d 術中所見 (3)

右肝静脈パッチ再建を施行した。

胆道悪性疾患

松 山 隆 生

胆道悪性疾患の本年度の切除手術症例数は福浦、センター病院あわせて胆嚢癌 6 例、中下部胆管癌 14 例（肝門周囲癌と重複 5 例）、肝門周囲癌 18 例（広義の肝門部胆管癌）、Vater 乳頭部癌 4 例、末梢型肝内胆管癌 1 例と合計で 38 例だった。横浜市内・神奈川県下から多数の貴重な症例をご紹介していただいているため胆道癌切除数は年々増加してきている（図 1）。いずれの症例も他院では様々な理由で治療が困難であると診断された症例であり、術前治療から手術、術後補助化学療法に至るまで難しい問題をいくつも解決していかなければならない。

肝門部周囲癌は本年度 18 例の切除症例を経験し 1992 年から広義の肝門部胆管癌は 185 例となった。切除症例全体の 5 年生存率は 39.5%、MST は 39.3 ヶ月（非切除集学的治療症例は MST が 12.4 ヶ月）であった。肝門部胆管癌の手術は高難度手術であり合併症発生率は 51.3%、在院死亡率も 4.8% であった（図 2）。

胆嚢癌は本年度 6 例の切除症例を経験し 1992 年から 124 例となった。切除症例全体の 5 年生存率は 58.6%、MST は 102.2 ヶ月（非切除症例は MST が 7.2 ヶ月）であった（図 3）。

中下部胆管癌は本年度 14 例の切除症例を経験し 1992 年から 132 例となった。切除症例全体の 5 年生存率は 38.7%、MST は 42.6 ヶ月であった（図 4）。

胆道癌に対する手術はいずれも高難易度手術であり、合併症発生率が他疾患に比べて多いことが問題である。教室では 2003 年から 3D-CT による術前切除シミュレーションを行ってきたが、現在ではこの 3D-CT 画像を tablet 型端末を用いて術野に持ち込むことで切除の際の Navigation とし、切除時間の短縮、切除中の出血量低減などに役立っている。今後さらに発展させて肝切除術における Navigation surgery の実現に貢献したい（図 5）。

2008 年 4 月から行っている切除可能胆道癌（borderline resectable）に対する術前化学療法症例もエントリー症例が 87 例になった。このうち 61 例（71.0%）に切除術を行っている。現在は観察期間中であるが 3 年生存率 66.1% と効果が期待できる経過である。また、初診時に非切除と診断された胆道癌に対して半年間の化学療法を行い、病勢が進行しなければ積極的に切除を行っている（図 6）。これまでに 52 例の非切除胆道癌に対して化学療法を施行し、8 例に切除術を行った（切除率：17%）、いずれも肝転移症例や三肝静脈と下大静脈 IVC に浸潤を認める高度進行胆道癌であった。技術的にも困難な手術を施行しなければならないが、3 年生存率は 62.5% であり、非切除症例よりは明らかに長期予後が期待できるため、切除の目を潰さないように切除の可能性を常に考慮す

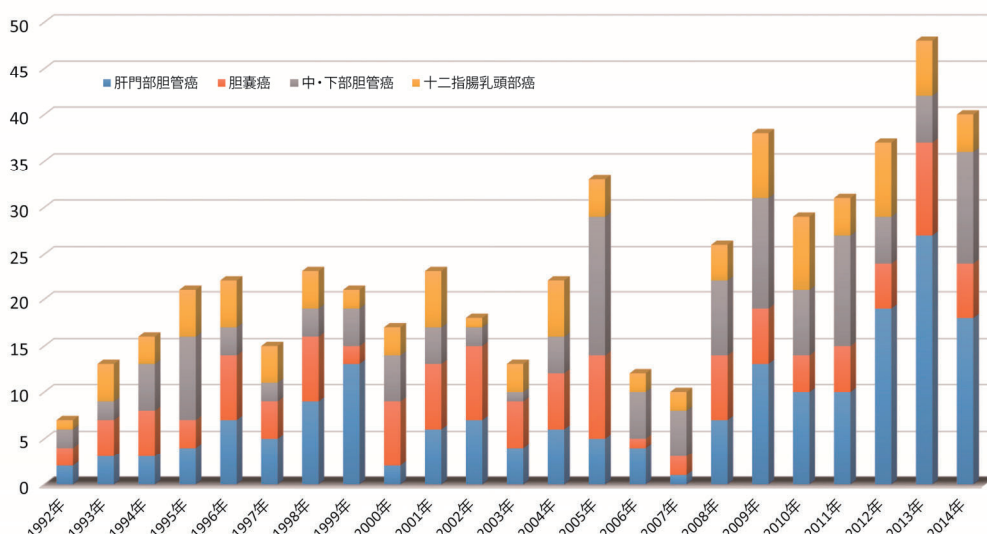


図 1 胆道癌切除数 年次推移

ることが重要である。

胆道癌に対する最も効果的な治療法は外科的切除であることは論を待たないが術前化学療法、放射線療法、術後補助化学療法、胆道ドレナージ術、胆管

炎のマネージメントなど多岐にわたる手技と知識が必要である。今後も手術手技、知識の向上、研鑽、教育に邁進していきたい。

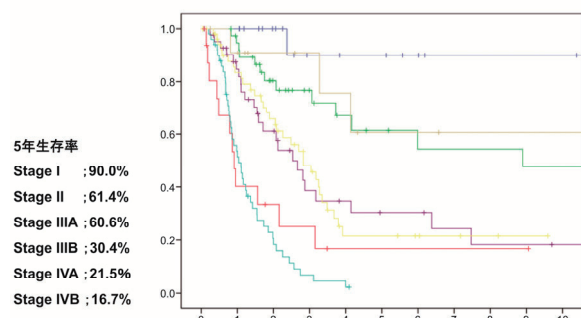


図2 肝門部領域胆管癌

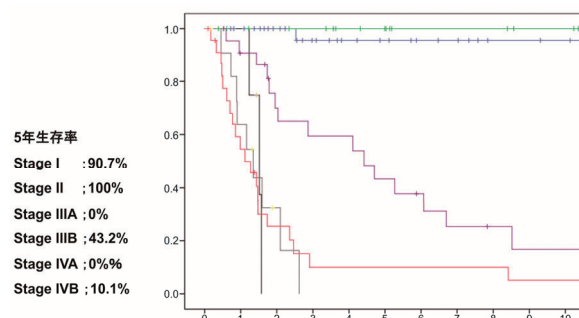


図3 胆嚢癌

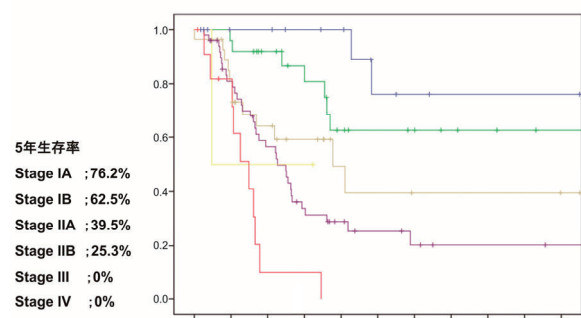


図4 遠位胆管癌

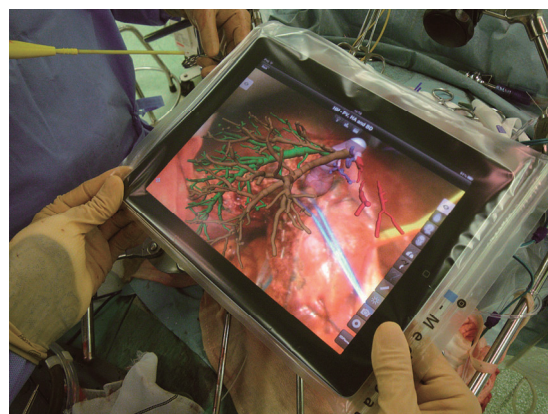


図5 Tablet端末を用いて術中に肝静脈と切離ラインの位置関係を確認する。

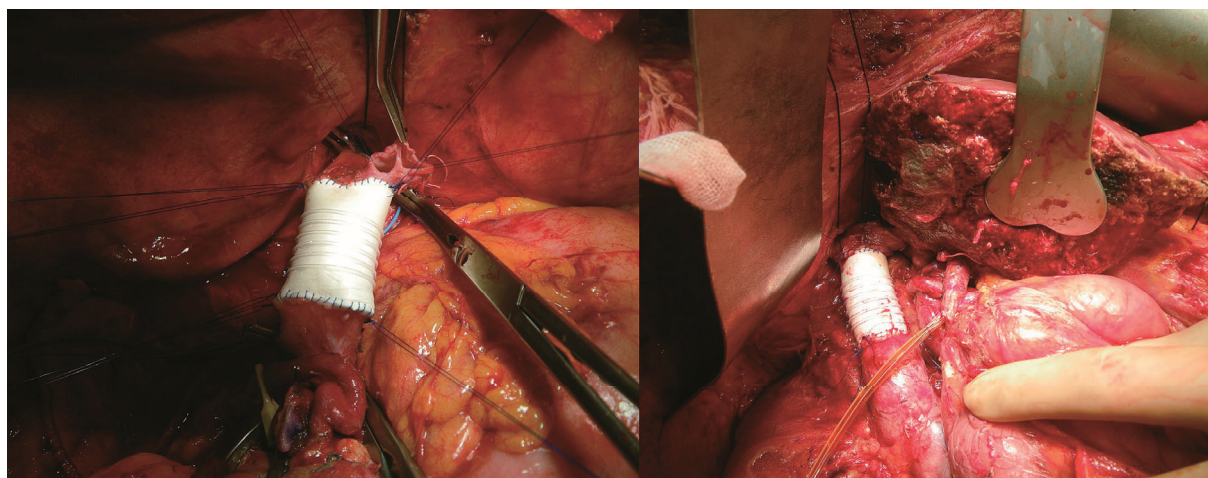


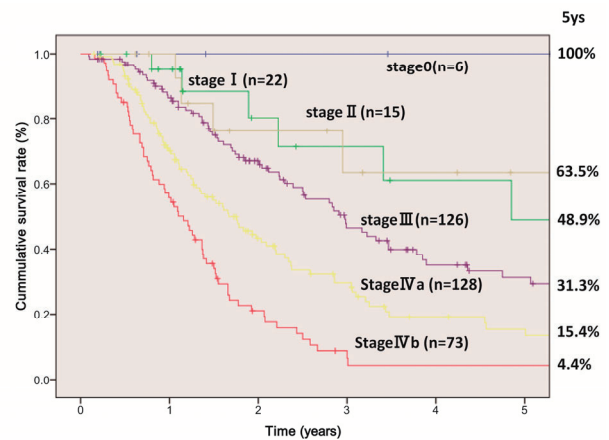
図6 肝内胆管癌の下大静脈浸潤症例に対する半年のdown staging chemotherapy後のEx Vivo手術による切除術。下大静脈は人工血管で置換。残存肝も一度体外へ取り出し、左肝静脈を大伏在静脈で再建したのちに自家移植した。

膵 癌

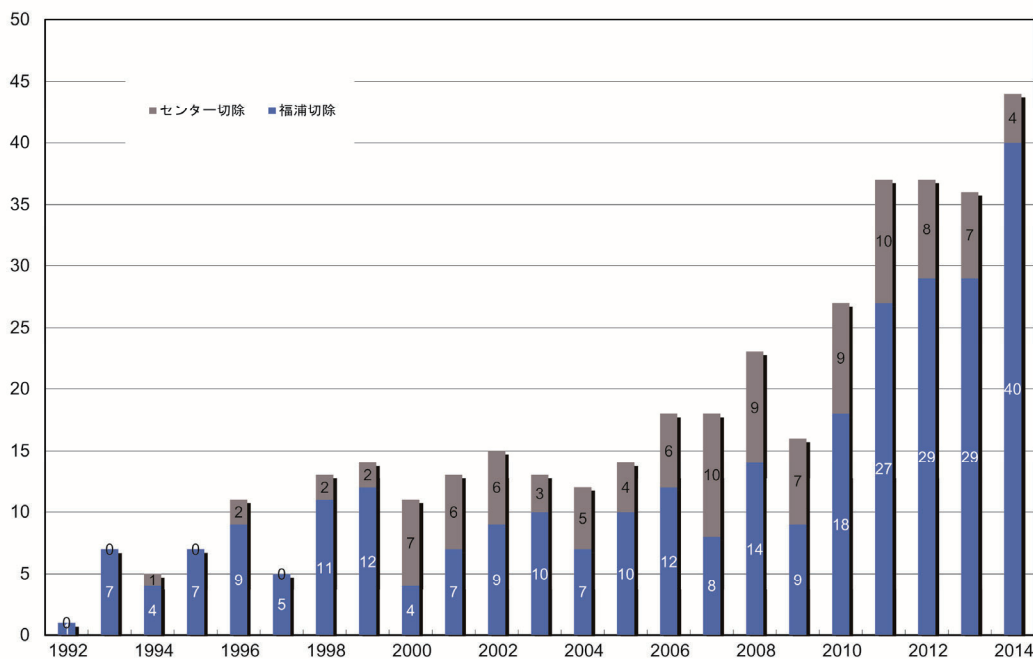
森 隆 太 郎

2014年度の通常型膵癌切除は44例（福浦40例、センター4例）と過去初めて40例を越え、また、福浦だけでも40例と増加した。累積症例数は全体で590例、切除371例で切除率は63%となった。福浦の術式の内訳は、膵頭十二指腸切除18例（うち門脈合併切除13例、動脈合併切除6例）、膵体尾部切除19例（うち門脈合併切除1例、DP-CAR2例）、膵全摘2例、その他1例で、17例が術前化学放射線療法後の切除であった。切除例全体の5年生存率は22%と年々少しずつ改善がみられている。特に、術前化学放射線療法を開始した2008年以降の症例に限ると31%と良好な成績が得られている。NCCNガイドラインでのUnresectable膵癌に対するgemcitabineを中心とした長期化学（放射線）療法後の切除では、切除率21%、うちR0切除率91%、切除例の生存期間中央値は22か月と良好な成績を得ており、2014年度からはYCOGで局所進行Unresectable膵癌に対しFOLFIRINOX療法を導入し切除率・生存率の向

上を目指し症例集積中である。また、Borderline resectable膵癌に対する術前化学放射線療法後切除80例の5年生存率33%、生存期間中央値25か月の成績を得たことから、さらなる治療成績向上のため、今後gemcitabine+Nab-paclitaxelの導入を計画中である。



切除例 stage別生存曲線



膵癌切除例 年次別症例数

生体肝移植

武田和永、熊本宜文、澤田 雄

当院での肝移植は、1997年にはじまり、2015年1月現在、計63例となりました。1年生存率は80.01%、5年生存率は71.4%（図1）と、良好な成績を維持しています。原疾患の内訳は、1. 肝細胞癌（n=14）、2. B型肝炎肝硬変（n=12）、3. 劇症肝炎（n=10）、4. 原発性胆汁性肝硬変（n=8）、5. C型肝炎肝硬変（n=6）、6. アルコール性肝硬変（n=4）、7. 原発性硬化性胆管炎（n=2）、8. 自己免疫性肝炎（n=2）、9. 胆道閉鎖症（n=2）、その他となっています（図2）。

2010年7月にわが国では、改正臓器移植法が施行されました。その後、脳死肝移植数が急増し、改正後1年間で55例からの脳死肝臓提供がありました。一方、現在、成人に対する脳死肝移植実施施設は、全国19施設ありますが、関東地方では、慶応大学、順天堂大学、東京大学、信州大学の4施設です。現在、神奈川県下で成人の肝移植を行っている施設は当院のみで、かつ、横浜は、全国一番の人口を有する政令指定都市であるという社会的背景から、今後当院でも、脳死肝移植施設認定を目指すことが、本学倫理委員会でも承認されました。そのため、当院でも、院内スタッフの肝移植に対する意識を高めるため、横浜肝移植セミナーを定期的に開催しています。2014年10月の開催で、計4回目となりました。また、市民公開講座も2014年に行いました。

肝移植後は急性拒絶反応発症をおさえるため、免疫抑制剤の使用が必須です。しかし、その一方で、感染症の合併率が、他の消化器外科手術に比較して高率といわれています。当院で施行した肝移植症例中、28例（44.4%）が敗血症に陥りました。そこで、感染症予防の取り組みとして、術前からのリハビリ導入、栄養療法改善目的に術前からのシンバイオティクス栄養療法導入を導入しています。これまで8例に実施し、成績は良好です（図3）。

一方、C型肝炎ウイルス再発や肝細胞癌再発などの原疾患再発治療に関して、退院後は、消化器内科、さらに臨床腫瘍科と連携して診療を行っています。

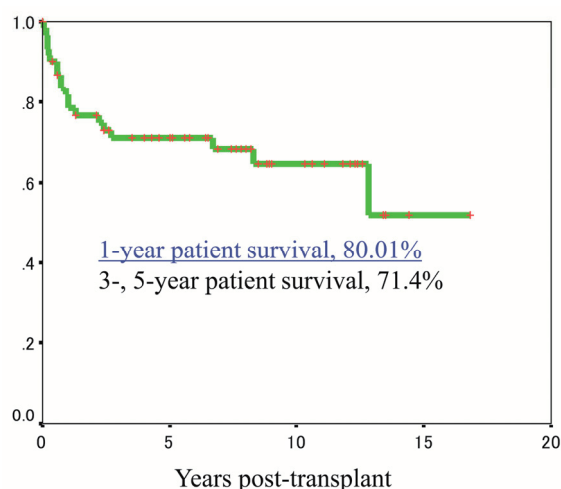


図1 横浜市大 肝移植成績

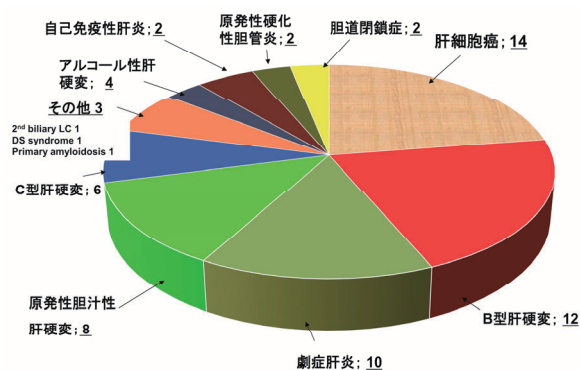


図2 横浜市大 肝移植症例 原疾患

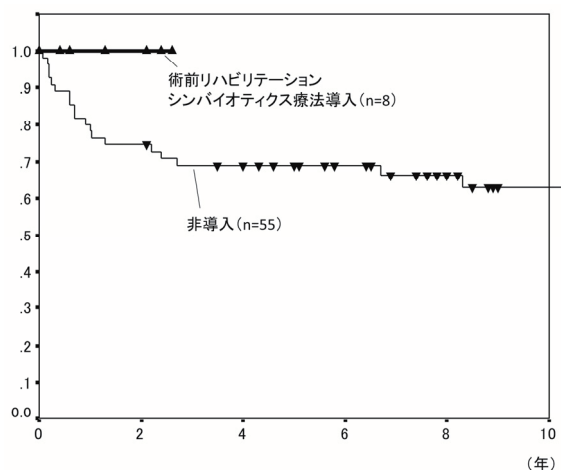
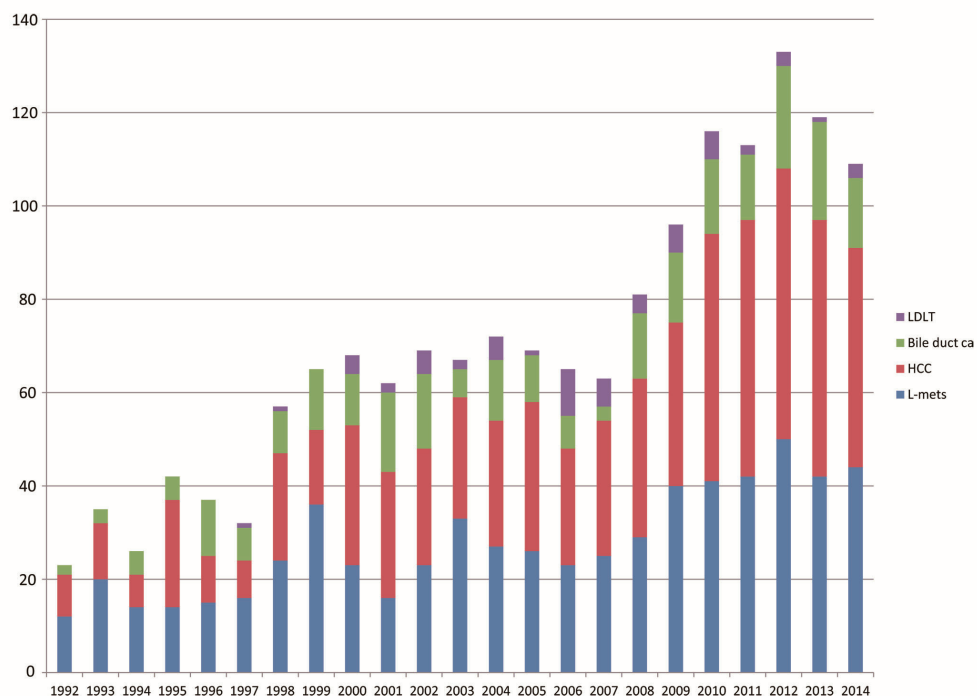
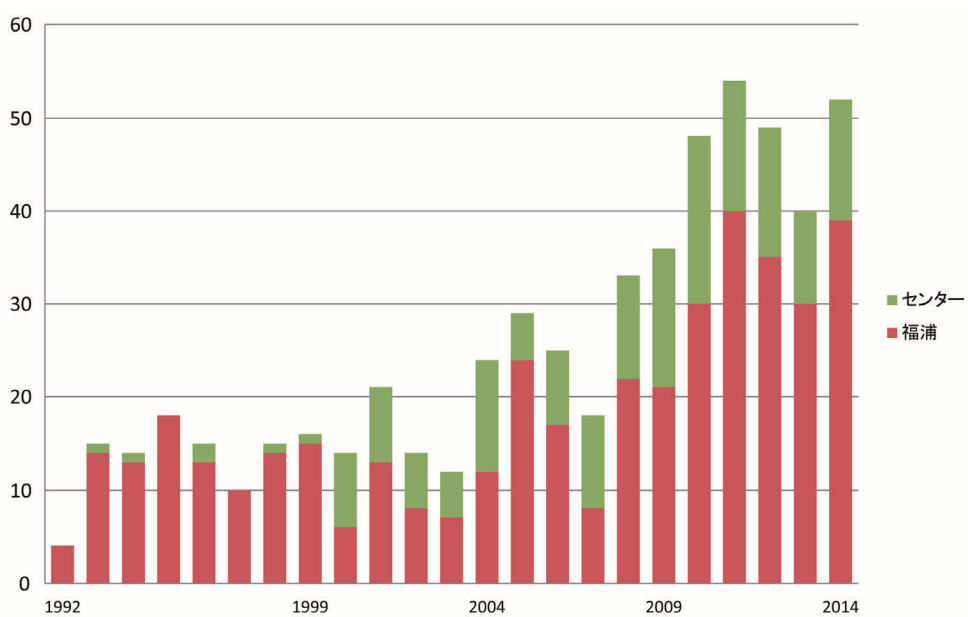


図3 最近8例の成績

年間手術件数の推移



肝切除数の推移



膵頭十二指腸切除症例数